

ねらいにせまるための指導の工夫



① 相手意識や目的意識を具体的にもたせる課題設定

冬休みの予定について、複数の生徒と自由にやり取りを行うことで、話題について整理することができました。その後、ALTの友達が冬休みにやって来ることや、その時のALTの困り感を聞き取ることで、誰のためにとという相手意識や、仲間とやり取りをする目的をもった対話活動につなげることができました。

目的、場面、状況の設定では、「相手意識」や「目的意識」をもたせることが重要なポイントになります。

② 生徒の思考が働く中間指導

中間指導で内容面として、ALTの友達のことや当日の状況について聞き取り、質問して得た新しい情報（ALTの友達の興味や関心、当日の天気等）に注目することで、相手意識や目的意識に立ち返りながら、自分の考えや気持ちを伝え合うことができました。また、言語面として、タブレット端末を活用し、自分の提案内容を文字化することで、正確性を高めることができました。